

道標ない旅

自分も人も大切に

～思いやり
・チャレンジ
・しなやかな心～

回覧



令和4年度 地域版第8号
2023.3.6発行
葉山町立長柄小学校
校長 益田孝彦
Tel. 046-875-6860
Fax. 046-876-0682

<http://www.town.hayama.lg.jp/nagae>

◆◆ 2/10 に第5回南郷中・長柄小合同学校運営協議会が開かれました。ダイジェストで紹介します。 ◆◆

(1) 両校教頭より、12月(第4回会議)以降の学校の様子が報告されました。

長柄小学校教頭からは、いろいろなことが出来るようになったこと(たてわり遊び、1・2年交流会、かるた遊び、1・6年ポップコーン、書き初め、3年クラブ見学、あいさつ運動、サイエンスショー、一色小への昔の道具見学、4・5年運営委員会選挙、節分等)や、コロナ・インフルエンザの状況等が紹介されました。最近開設されたリソースルームに、守秘義務に対してしっかりと理解のある地域の方が、児童と共に訪れ、リソースルームのお手伝いをしてくださっていることなどが紹介されました。

南郷中学校教頭からは、1年総合で、町長さん達による葉山エシカルアクションについてのお話や、英語のレシテーションコンテストの様子が動画で紹介されました。また、インフルエンザの影響で、自宅から、または他の教室から、或いは発表会場からの3カ所から代表が動画等で登壇した意見文発表会の様子も紹介されました。2年生では、横浜班別行動・平和学習の様子とその重要性が紹介されました。3年生は面接練習など入試モードの中、3年担任が工夫して節分やクリスマスでの集合写真を残す取組等が紹介されました。又職員等の、南郷中学区の教育講演会や、長柄小との合同研修や、新入生保護者説明会等が行われたこと等が紹介されました。



(2) 合同学校運営協議会HPが開設されました。

いよいよ合同学校運営協議会のHPが始動しました。(URL: <https://nagae.hayama-cs.com/>)
まだ、キーワードでのGoogle等の検索には引っかかりません。上記URLを打ち込んでいただくと、HPを閲覧頂けます。「コミスクとは?」という方々への疑問に答えるホームページになっています。

何より、メールにて合同運営協議会に質問やご意見等を寄せる機能がありますので、保護者の方々や地域の皆様に活用して頂けるようになることを期待しています。地域の方々にお伝えしたいこと、話題等がありましたら、メールを利用していただくか、長柄小校長までお電話ください。積極的のご紹介していければと考えています。

(3) 長柄小学校下での逗葉新道への右折進入許可に係る進捗状況

長柄小学校側から、逗葉新道への安全な右折進入のためには、心に十分な余裕を持って、本当に安全な状況で右折進入する心がけが重要だという共通認識を運営協議会一同で共有しました。申請した結果交通事故が生じてしまったら、元も子もないという意識も共有されました。申請するにあたっては、その点が保護者・地域の方々と共有していく必要も感じました。申請は慎重に決断すべき内容なので、3月の合同学校運営協議会において、再度審議した上で、申請の是非を決定していこうという方向性が確認されました。

(4) 学校活動に協力いただける団体・個人の募集について



地域学校協働活動推進員2名から、両校の教育活動にご協力頂ける団体や個人の方の募集について提案がありました。町づくり協会などに属していたり、すでに南郷中学校のFGC活動等にご協力頂いたりした実績のある団体や個人の方に、書式を含む案内を送付することは簡単です。しかし、今まで活動実績のない方が、放課後サポート学習教室の支援や、リソースルームのお手伝いや、プール教室の支援や、登下校スクールガードボランティアとしてのお手伝いなど、生きがいとしてやってみたいと思われる方が長柄地区にいらっしゃると推察します。その方々は、まずは、上記ホームページの問い合わせを利用するか、両校管理職へお電話頂けると良いという報告がありました。

(5) 南郷中学校の学校評価(案)が森岡校長から報告されました。発表を受けて寄せられた運営協議会各委員の発言を紹介します。

①「新しい時代に必要な資質・能力を育む学校」について

- 小学1～3年で身に付けるであろう基礎がしっかりしていないと、探究学習が成立せず、わがままな考えが横行する正解のない学習で育ててしまう危惧がある。3年までの基礎学習がとても重要に聞こえてくる。
- 情報機器に問えば正解が簡単に出てくる現在の学習って本当に身につくのだろうかとか疑問を感じる。まして、教えない教授法って一体どんなものか、成果が上がるのか気になるところである。
- 授業は教師が児童生徒に興味を抱かせる仕掛けから始まると思っている。最近はいろんな学校で授業を見ても、一体この授業を通して最終的に何が残るのか見えてこない授業が多いように感じる。答えを教えず、探究させる授業を続けたときに、児童生徒に残していける成果がどんなものなのか、それが日本が一番に振り返る成果につながるのか、這い上がれずに終わってしまうのか、難しいことだと思うが、10年後の成果に注目したい。

②「豊かな心を育み、信頼でつながった学校」について

- 生徒の目に、忙しそうにしている教師集団に映ってしまう経営に反省が残る。数値に後退が見られる。相談しやすい学校・教師は今後も重要な課題だと考える。
- 課題点を生徒に投げかけ、その答えを先生方と共有して対策を講じようとする学校の姿勢がとても良いと感じている。



③「地域を愛し、地域から愛される学校」について

- 南郷中の先生方がコミスクルームの在室状況を気にするようになってきた。相談したいなと捉えてきているようだ。
- 先日の会議の場で、南中の先生が「コミスクって忙しくなるの？」と尋ねられて、「負担は全く無いですよ。むしろ楽になる部分がある。」と伝えている場面に出会った。これが先生方の実感なんだと感じた。

④「いじめに向けた対策」について

- いじめの件数はどのくらいあるのか? →ほとんど無い状況。SNSを介したいじめ案件が4～5件くらいあっただけと認識している。→「嫌な思いをさせた」ことを指導した程度。個人のスマホの使い方に課題がある程度。すごいことに、周囲の生徒がその(加害?)生徒のことを心配して伝えてきてくれる状況がある。そのレベルで解決できる。→今年度は特に本当にいじめ事案がない。毎日のやりとり帳が効果を上げている。→本校に赴任した頃と比べて、先生方の対応が質的に向上している。

◆◆ 森林未来会議 in 葉山(2/27 at 葉山福祉文化会館)に参加してきました。 ◆◆

海と山に囲まれた葉山町、その森林側が持つポテンシャルを知りたくて上記会議に参加しました。日本を代表する林業や森林のプロによる6時間近い講演やディスカッションを通して、素人に近い私でも分かってきたことを紹介します。



プロの目から判断した葉山の森林部分は、「全く手が入っておらず、問題を沢山抱えている。とりわけどこも車が横付けできないアクセスの悪さを抱えている。」「海も貴重な財産である葉山なのに、土砂を一粒も海に流さないという決意が足りない。」「物質生産(木材生産)を目途とした林業はスケールからいっても成立しない。」「森林整備の方向性(デザイン)が町民に共有されているとは言えない。」「住宅地に近い里山広葉樹林の大径木化等起こりうるリスクと隣り合わせの葉山において、森林のリスクとベネフィットの仕分けを、受益者のスケールを考慮して判断する必要がある。」等々課題があることが見えてきました。

一方、林業には向いていないものの、首都圏をすぐそばに抱えた葉山には、人が訪れやすい圧倒的な魅力があることや、ツタや倒木などの課題を処理しての「きれいな(美しい)森なら5年で作れる。」と言った観点も示され、「生物多様性保全」「土砂災害防止」「水源涵養」「保健・レクリエーション」といった機能に葉山のポテンシャルを感じることが出来た会議でした。

簡単で良いから調査・踏査を行い、現状を知ることや、デザインの共有を図って、賛同する企業との出資を取り付けていくことが次のステップなんだろうと分かりました。地元の小・中学生が学びの中でどう関わっているのか、さらに考えていきたいなと思いました。

◆◆ 南郷中学校下の歩道橋付近の環境整備 ◆◆

土砂や枯れ葉が溝を埋め尽くして、水がたまってしまいう状況にあった南郷中学校通学路(歩道橋付近)の環境整備を本校業務員が行いました。たまっていたものを全部取りだし、フタを取り付け、水の流れ道を作りました。南郷中の生徒が喜んでくれるといいなと思います。

